

令和7年度 公開講座 募集要項 【第2期】

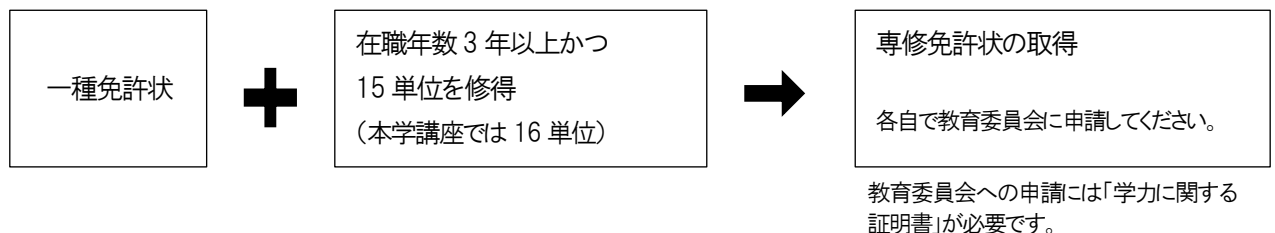


専修免許状取得講座
[幼・小・中・高]



URL : <https://gijodai.jp/openc/>

【一種免許状から専修免許状への上進について】



岐阜女子大学

令和7年度 文部科学省認定 大学院免許法認定通信教育【第2期】

中学校・高等学校教諭専修免許状

(中学校・高等学校教諭免許状一種免許状を専修免許状に上進)

【開講科目】1科目から申し込み可能

No.	科目名	担当教員	単位	申込み期間
1	教育課程特講Ⅳ	齋藤 陽子	2	7月1日～7月25日  申込フォーム
2	教育原理特講Ⅳ	高橋 正司	2	
3	教育方法特講Ⅱ-Ⅳ	齋藤 陽子	2	
4	教育情報特講Ⅳ	久世 均	2	
5	教材開発特講Ⅳ	横山 隆光	2	
6	教育実践特講Ⅳ	齋藤 陽子	2	
7	教育経営特講Ⅳ	三尾 寛次	2	
8	遠隔教育特講Ⅳ	久世 均	2	

【スケジュール】

申込期間	7月1日～7月25日	
受講料振込期間	受講確認書到着後～7月29日	
教材発送期間	8月1日～8月5日	
スタートアップオンライン講座(zoomで開催) どちらか1日を選択して受講【必修受講】	8月9日(土)	
	8月10日(日)	
課題レポート (2つの課題を同時に提出)	提出期間(必着)	11月20日～11月30日
	採点結果通知・論文課題お知らせ	12月中旬頃
論文課題	論文課題 提出期間	1月10日～1月20日
成績通知書 発送期間	令和8年3月下旬頃	

受講料 1科目(2単位)20,000円(テキスト代金含む)

受講対象者 令和7年度内に本講座にて開講する科目は、中学校教諭一種免許状または高等学校教諭一種免許状を有し、教職経験年数3年以上の方で、専修免許状に上進する方を対象に開講しています。
(教育職員免許法別表第3)

単位認定について スタートアップオンライン講座を受講し、1科目につき、2つの課題(課題レポート)と論文課題に合格することで、単位が認定されます。

その他 過去に単位認定を受けている科目は受講することができません。
1科目から申し込みは可能です。

【授業概要(中学校・高等学校教諭専修免許状)】

1. 教育課程特講Ⅳ

本講義では、Society 5.0 時代における教育のあり方を踏まえ、学校におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性和重要性を理解する。また、具体的な DX 戦略の策定プロセス、導入における課題と解決策、そして未来の教育がどのように変革されるかについて考察する。そのうえで、学校 DX がもたらす変革であるより質の高い教育と持続可能な未来を目指し、教育と学校カリキュラムの抜本的な改革について考えを深めていく。

2. 教育原理特講Ⅳ

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日の教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

3. 教育方法特講Ⅱ-Ⅳ

多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。その際に、学習教材を選定・開発するに当たって、教育効果を高めるために必要な考え方や教材の内容によってはプライバシーの保護等も必要なため、それらの考え方を学び、このような映像教材の開発やそれらを活用した教育方法について考えを深める。

加えて、近年急速に発展している技術の生成 AI と教師の役割に着目し、個別学習における教育方法を追究していく。

4. 教育情報特講Ⅳ

21 世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業での ICT 活用など、教師はどのように対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

その中で、新たな学びに重要になると考えられる「教育リソース」について追究すると共に、教育リソースに必要不可欠なデジタルアーカイブについて考えを深めていく。

5. 教材開発特講Ⅳ

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネットやメタバース等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

6. 教育実践特講Ⅳ

多様化する社会からの期待に応えるために、様々な現代的教育課題を取り挙げ、その実践等を学び、中・高等学校における教育実践についてさらに深く追究する。中・高等学校教育の場が求める教育者として、教職の基礎及び教科等に関する専門的知識に基づく実践的指導力を学修し身につけ、教育者の専門職としての自覚とその教育を効果的に進めるための理論と実践力をさらに深く追究する。

加えて近年課題となっている情報通信技術(ICT)を活用した学びの方法、特に生成 AI の技術についても触れ、子どもの発達段階に応じた方法を追究し、その実践力の向上を図る。

7. 教育経営特講Ⅳ

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で取り組まれている「マネジメント」を取り上げ、この 3 つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探究していく。こうした学びをとおして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見だし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い直すこととする。

8. 遠隔教育特講Ⅳ

教育 DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育 DX の目的は、「個別最適な学びという“新たな学び”の実現」である。20 世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21 世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育 DX 時代における 遠隔教育という“新たな学び”の在り方について考える。

令和7年度 大学院科目履修講座【第2期】
幼稚園・小学校教諭専修免許状
 (幼稚園・小学校教諭免許状一種免許状を専修免許状に上進)

【開講科目】 1 科目から申し込み可能

No.	科 目 名	担当教員	単位	申込み期間
1	教育課程特講～初等教育～	齋藤 陽子	2	7月1日～7月25日  申込フォーム
2	教育原理特講～初等教育～	高橋 正司	2	
3	教育方法特講Ⅱ～初等教育～	齋藤 陽子	2	
4	教育情報特講～初等教育～	久世 均	2	
5	教材開発特講～初等教育～	横山 隆光	2	
6	教育実践特講Ⅰ～初等教育～	齋藤 陽子	2	
7	教育経営特講	三尾 寛次	2	
8	遠隔教育特講	久世 均	2	

【スケジュール】

申込期間	7月1日～7月25日	
受講料振込期間	受講確認書到着後～7月29日	
教材発送期間	8月1日～8月5日	
スタートアップオンライン講座(zoom で開催) どちらか1日を選択して受講【必修受講】	8月9日(土)	
	8月10日(日)	
課題レポート (2つの課題を同時に提出)	提出期間(必着)	11月20日～11月30日
	採点結果通知・論文課題お知らせ	12月中旬頃
論文課題	論文課題 提出期間	1月10日～1月20日
成績通知書 発送期間	令和8年3月下旬頃	

受講料 1科目(2単位)20,000円(テキスト代金含む)

受講対象者 令和7年度内に本講座にて開講する科目は、幼稚園教諭1種免許状または小学校教諭1種免許状を有し、教職経験年数3年以上の方で、専修免許状に上進する方を対象に開講しています。
(教育職員免許法別表第3)

単位認定について スタートアップオンライン講座を受講し、1科目につき、2つの課題(課題レポート)と論文課題に合格することで、単位が認定されます。

その他 過去に単位認定を受けている科目は受講することができません。
1科目から申し込みは可能です。

【授業概要(幼稚園・小学校教諭専修免許状)】

1. 教育課程特講～初等教育～

本講義では、Society 5.0 時代における教育のあり方を踏まえ、学校におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の必要性和重要性を理解する。また、具体的な DX 戦略の策定プロセス、導入における課題と解決策、そして未来の教育がどのように変革されるかについて考察する。そのうえで、学校 DX がもたらす変革であるより質の高い教育と持続可能な未来を目指し、教育と学校カリキュラムの抜本的な改革について考えを深めていく。

2. 教育原理特講～初等教育～

戦後日本の教育改革のエポックに焦点をあて、教育理念、目的、内容、方法、制度に関わる基本資料・重要文献をとりあげる。原資料を読み解きながら、今日の教育問題の背景、文脈について理解を深め、新たな研究動向への関心を広げる。

3. 教育方法特講Ⅱ～初等教育～

多様な学習者に対応した映像の教材化を考えると、これまでの単方向を主として撮影・記録されてきたものから、多様な視点で教材を提示することが必要となる。そこで、本科目は、学習教材を多方向同時撮影することにより多視点映像として教材化し、多視点映像教材の教育利用・研究での課題について考える。その際に、学習教材を選定・開発するに当たって、教育効果を高めるために必要な考え方や教材の内容によってはプライバシーの保護等も必要なため、それらの考え方を学び、このような映像教材の開発やそれらを活用した教育方法について考えを深める。

加えて、近年急速に発展している技術の生成 AI と教師の役割に着目し、個別学習における教育方法を追究していく。

4. 教育情報特講～初等教育～

21 世紀の知識基盤社会における「学力」は「他者と協働しつつ創造的に生きていく」ための資質・能力の育成である。そのために、授業では、他者と共に新たな知識を生み出す活動を引き出しつつ深い知識を創造させていく経験を、数多く積ませることが重要である。また、情報化や国際化が進み、社会が大きく変化する中で、学校、そして教師は様々な変化に直面している。児童・生徒に求められる学力の変化や授業での ICT 活用など、教師はどう対応していけばよいのだろうか。本講座では「インストラクショナルデザイン」を手がかりに、教育情報の在り方について考えていく。

その中で、新たな学びに重要になると考えられる「教育リソース」について追究すると共に、教育リソースに必要な不可欠なデジタルアーカイブについて考えを深めていく。

5. 教材開発特講～初等教育～

教材及び学習指導方法の現状と課題を理解する。また、教材開発に必要な学習指導要領・指導目標・学習の状況、課題解決など学習活動の様態を理解し、そこで活用できる教材開発を実践的に行う。また、中・高等学校でのインターネットやメタバース等、新しいメディアを活用した教材開発と教育方法の事例を学修し、それらの特徴を把握する。教材開発の改善に役立つ学習の評価方法について理解する。

6. 教育実践特講Ⅰ～初等教育～

多様化する社会からの期待に応えるために、様々な現代的教育課題を取り挙げ、その実践等を学び、中・高等学校における教育実践についてさらに深く追究する。中・高等学校教育の場が求める教育者として、教職の基礎及び中・高等学校の教科等に関する専門的知識に基づく実践的指導力を学修し身につけ、教育者の専門職としての自覚とその教育を効果的に進めるための理論と実践力をさらに深く追究する。

加えて近年課題となっている情報通信技術(ICT)を活用した学びの方法、特に生成 AI の技術についても触れ、子どもの発達段階に応じた方法を追究し、その実践力の向上を図る。

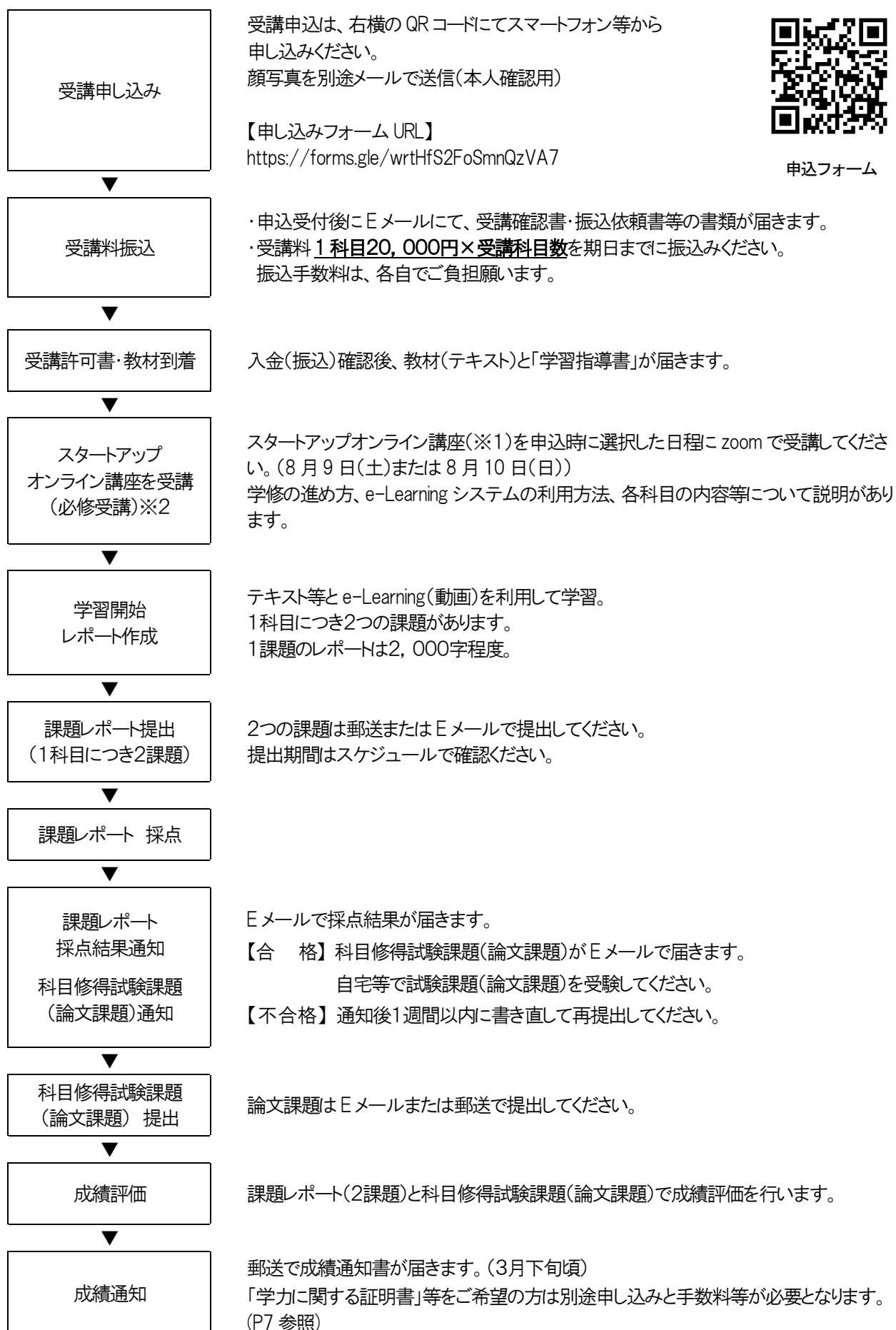
7. 教育経営特講

教育のしくみとして「公教育」を、教育の歴史的な背景や流れとして「教育政策と学校教育」を、そして、今日学校教育の運営の中で組み込まれている「マネジメント」を取り上げ、この 3 つの視点から学校における教育活動の運営や経営を探究していく。こうした学びをととして、教育活動やその運営を動かしている「考え方」を見いだし、そこから、教育実践の意味、教育の方法の在り方を問い直すこととする。

8. 遠隔教育特講

教育 DX(Digital Transformation)時代における“新たな学び”とは、教師がデジタル技術を活用し、学びの在り方やカリキュラムを革新させると同時に、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立することである。また、学びという側面から考えてみると教育 DX の目的は、「個別最適な学び」という“新たな学び”の実現である。20 世紀の学習観は、行動主義・認知主義の学習観を採用していた。しかし、21 世紀に入り、学習観は「主体的・対話的な深い学びの実現」という構成主義・社会構成主義の学習観に移行した。この変化から分かるように、教育が「全員に同じ教育」から「個々が持つ能力を最大限活かす教育」に変化している。ここでは、教育 DX 時代における 遠隔教育という“新たな学び”の在り方について考える。

受講申込から単位認定までの流れ



※1 スタートアップオンライン講座について【必修受講】

スタートアップオンライン講座はオンライン(zoom)で行います。
2日間のいずれか1日を選択して受講してください。(8月9日(土)または8月10日(日))

《スタートアップオンライン講座 時間割》

○受付・ガイダンス

時 間	内 容
9:15～9:30	【必修受講】 オンライン受付(本人確認)
9:30～10:20	【必修受講】 ガイダンス オンラインに関する注意事項等連絡・説明 学習の進め方、e-Learning システムの利用方法、各科目の内容等について

申込科目のみ受講してください。(オンライン受付とガイダンスは必修受講)

○科目説明

	中学校・高等学校専修免許状	幼稚園・小学校教諭専修免許状
10:30～11:00	教育課程特講Ⅳ	教育課程特講～初等教育～
11:00～11:30	教育原理特講Ⅳ	教育原理特講～初等教育～
11:30～12:00	教育方法特講Ⅱ-Ⅳ	教育方法特講Ⅱ～初等教育～
12:00～12:30	教育情報特講Ⅳ	教育情報特講～初等教育～
12:30～13:30	休憩	
13:30～14:00	教材開発特講Ⅳ	教材開発特講～初等教育～
14:00～14:30	教育実践特講Ⅳ	教育実践特講Ⅰ～初等教育～
14:30～15:00	教育経営特講Ⅳ	教育経営特講
15:00～15:30	遠隔教育特講Ⅳ	遠隔教育特講
15:40～16:00	質疑応答	

《おことわり》

- ① 講師または、社会状況、その他やむを得ない事情により日程・時間割が一部変更になることがあります。
- ② オンライン受付とガイダンスは、必ずご出席ください。【必修受講】
9:15～のオンライン受付でご本人確認を行います。
申込時に提出いただきました顔写真にて本人確認をいたします。
- ③ オンライン受付とガイダンス(必修受講)が終了いたしましたら、科目説明は申込した科目のみ受講してください。
受講科目の開始10分前までには zoom にアクセス願います。
(各科目の時間が多少前後する恐れがございますので、ご了承ください。)
- ④ 本スタートアップオンライン講座は、記録の為、録画させていただきますので、ご了承ください。

学力に関する証明書(有料)について

教育委員会に専修免許状の上進申請を行う場合、「学力に関する証明書(有料)」が必要です。

「学力に関する証明書(有料)」が必要な方は、申込書に必要事項をご記入の上、FAX または郵送にてお申込みください。

代金引換郵便にてお送りいたします。(※電話による申込みは受け付けておりません。)

[申込書]

本学ホームページから書式をダウンロードしてください。

(本学ホームページ <http://www.gijodai.jp/openc/tsusin02.html>)

[費用について]

- ① 学力に関する証明書 1 通 : 500 円

※証明書は、受講年度ごと・講座ごとの発行になります。

- ② 郵送料:140 円～(郵送物の重さ・速達等の条件によって異なります。)

※速達を希望される場合は、申込書の余白に「速達希望」とご記入ください。

- ③ 代金引換郵便手数料:493 円

※①～③の合計額が、必要費用となります。

配達時に、郵便局配達員にお支払いください。

[学力に関する証明書(有料)についての注意]

- ・ 「学力に関する証明書(有料)」とは、教職に関する単位の修得状況を証明するもので、3 月下旬に郵送する「成績通知書」とは異なります。
教育委員会に提出する書類は「学力に関する証明書(有料)」になりますので、別途お申込みください。
- ・ 申請に必要な単位がすべて修得出来てからお申込みください。
- ・ 発行までに 2 週間程度かかります。
- ・ 「学力に関する証明書(有料)」は、受講年度ごと、講座ごとの発行になります。
対面講座と通信教育は別講座になります。

専修免許状への上進については、各自で都道府県教育委員会に申請手続きを行ってください。
申請方法等についての詳細は、申請先の都道府県教育委員会にご確認ください。

お問い合わせ先 ※ 応対可能時間9時～17時 担当が不在の曜日もありますので、ご了承ください。

本講座の内容に関すること

岐阜女子大学文化情報研究センター

T E L:058-267-5237

E-mail:openc@gijodai.ac.jp

成績・証明書等に関すること

岐阜女子大学 学事課

T E L:058-229-2211(代表)

F A X:058-229-2222

E-mail:kyomu@gijodai.ac.jp